

月刊しばうら

2016年10月号

大動物事業部

平成28年度全国肉用牛枝肉共励会

10月28日(金)開催

平成28年度全国肉用牛枝肉共励会が、来る10月25日から10月28日にわたり開催されます。当共励会は、肉用牛肥育技術の確立と枝肉の肉質向上ならびに経済性の増進に資するため、東京食肉市場に出荷実績を持つ全国各地の出荷者によって肥育された牛が、農林水産大臣賞、東京都知事賞を始めとした数々の栄誉を競います。出品頭数は今年度より500頭の上場頭数にて開催され、和牛去勢が270頭、乳牛去勢及び交雑牛去勢が70頭、和牛牝が160頭を予定しています。出品者、買受人の皆様及び関係各位の御来場をお待ちしています。

行事日程

10月25日(火) 午前10時00分より出品牛測定(和牛牝)

10月26日(水) 午前8時30分よりと畜解体(和牛牝)

午前10時00分より出品牛測定

(乳牛去勢及び交雑牛去勢・和牛去勢)

10月27日(木) 午前8時30分よりと畜解体

(乳牛去勢及び交雑牛去勢・和牛去勢)

10月28日(金) 午前6時30分より枝肉審査

午前8時45分よりせり販売

午後2時00分より褒賞授与式

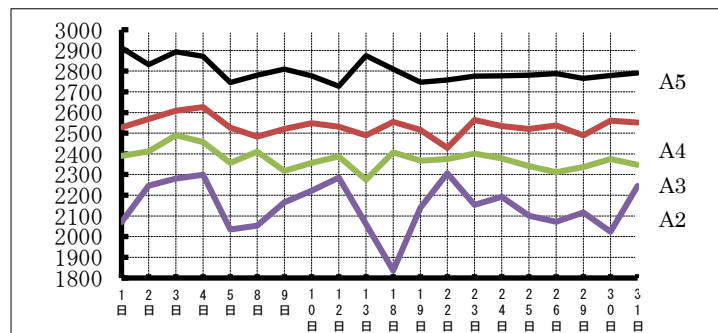
褒賞授与式会場 東京都中央卸売市場食肉市場

食肉市場センタービル9階東京都議会議室

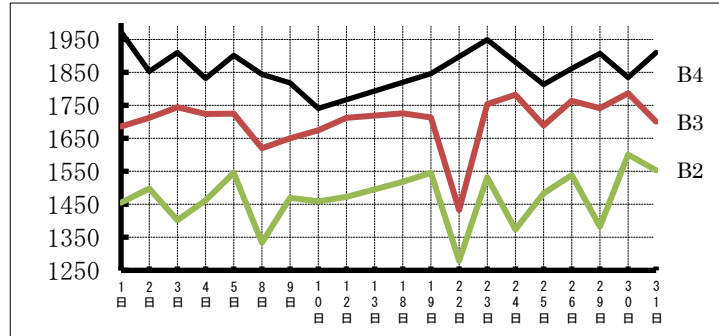
<9月の相場動向>

9月の牛枝肉相場は、牛肉需要低迷の中、今月は全国的に天候にも恵まれず和牛、交雑牛とも相場は前月のもちあいの相場動向となった。和牛は依然、全国出荷頭数減少傾向ではあるが枝肉仕上りの良しあしで、同等級間での価格差が生じている状況が続いている。

和牛去勢 日別相場表(9月)



交雑去勢 日別相場表(9月)



和牛去勢月平均	前年同月比	前月比
A5 2,835円	111.5%	101.3%
A4 2,567円	109.1%	100.8%
A3 2,390円	107.1%	100.5%
A2 2,151円	103.2%	98.5%
交雑去勢月平均	前年同月比	前月比
B4 1,837円	104.7%	98.9%
B3 1,696円	103.7%	99.2%
B2 1,507円	98.1%	101.8%
乳牛去勢月平均	前年同月比	前月比
B3 1,204円	—	—
B2 1,076円	109.2%	110.5%

<10月の全国出荷頭数予測>

農畜産業振興機構によると、10月の出荷予測頭数は、前年比4%減の9万1,500頭と予測している。品種別にみると和牛は7.6%減の3万7,800頭、交雑種は6.4%増の2万頭、乳用種は5.4%減の3万2,200頭としている。

東京食肉市場の10月のと畜頭数は7,400頭を予定している。

<10月の牛枝肉相場見通し>

10月の牛枝肉相場は、末端需要低迷の長期化で今月も供給が少ない中、需要の回復がみられなければもちあいで推移か。ただ、年末に向けた荷動きも出始める為いくらか相場が上向く可能性はあるが、大きな上げは考えにくいと予測される。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,750~2,850	B4	1,800~1,900
A4	2,550~2,650	B3	1,650~1,750
A3	2,400~2,500	B2	1,450~1,550
A2	2,150~2,250		
乳牛去勢			
B3	1,100~1,200		
B2	950~1,050		

<10月の牛肉輸入量予測>

農畜産業振興機構による10月の輸入牛肉通関量予測は、前年同月比3.9%増の4万3,200tと予測。内訳はチルドが0.4%減の1万8,900t、フローズンは8.2%増の2万4,300tで、豪州産が減少する半面、米国産は生産量の回復に伴い増加が見込まれるとしている。

輸入牛肉通関量	8月	前年同月	前年同月比	
チルド	豪州	9,920	10,374	95.6%
	米国	8,884	5,757	154.3%
	その他	787	599	131.3%
	合計	19,591	16,730	117.1%
フローズン	豪州	11,515	9,984	115.3%
	米国	5,853	6,809	86.0%
	その他	1,745	2,182	79.9%
合計	19,113	18,975	100.7%	

単位：t

出典：食肉速報

小動物事業部

食肉流通統計によると、8月の全国と畜頭数は132万7,106頭(前年同月比110.5%)となり前年より増加した。

また、8月分の豚肉通関実績は、総量で7万3,936t(前年同月比114.6%)と前年より上回った。うちチルドが2万9,834t(同112.8%)で内訳は、米国が1万762t(同112.5%)、カナダは1万1,176t(同111.3%)に増加。メキシコが1,034t(同138.8%)と増加。フローズンは4万4,102t(同115.8%)と前年を上回り、デンマークが1万1,170t(同112.6%)、メキシコが5,133t(同120.3%)米国が6,731t(同184.8%)、カナダが3,051t(同102.1%)と増加した。

<9月の豚取引の推移>

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1日	58,200	517	506	623
2日	54,900	525	514	707
5日	60,000	563	560	645
6日	61,900	632	610	699
7日	60,400	607	582	637
8日	61,900	557	534	898

上旬の全国と畜頭数は1日あたり5万9,500頭と前年並みの頭数であった。当市場においては平均700頭と前年を大きく下回る上場頭数であった。

8月から引き続き肩ロースの荷動きは堅調。ヒレも同様であった。スソ物については学校給食が始まったこともあり、特にモモの荷動きが良化してきた。荷余り感が強かったバラは若干良化。当市場においては、上物価格517円から632円まで急騰する場面もあった。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
9日	61,100	550	527	779
12日	63,800	535	519	867
13日	64,800	551	532	958
14日	61,600	546	534	635
15日	67,000	546	523	756
16日	65,900	532	508	942

中旬の全国と畜頭数は1日あたり6万4,000頭と前年を上回ったが、当市場は平均820頭と下回った。

上旬に続き肩ロース・ヒレ・スソ物の荷動きは堅調であった。輸入物のバラ、特にデンマーク産の品薄感が顕著であったこともあり、国産バラの相場が徐々に上昇してきた。当市場の相場は上物価格532~550円、中物価格508~534円と上中格差が少なく、非常に安定した状況であった。

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
20日	74,100	559	530	769
21日	74,400	534	504	1,247
23日	76,500	482	464	1,050
26日	65,500	445	426	1,093
27日	68,300	449	432	995
28日	65,000	439	425	747
29日	66,800	442	429	823
30日	66,600	448	432	744

下旬の全国と畜頭数は、平均6万9,700頭と前年を上回った。当市場の上場頭数は平均930頭と前年を下回った。連休中は営業日数が少なかったこともあり、全国頭数は7万頭半ばまで一気に増加。連休明け後も6万頭半ばと徐々に増加傾向となった。

今年のシルバーウィークは通常の飛び石連休扱いが一般的であったようだ。加えて台風が複数発生するなど消費需要は振るわなかった。

当市場の相場は上物価格559円から440円付近まで急降下する展開となった。

<10月の豚枝肉相場見通し>

農水省による10月の全国と畜頭数は、144万8,000頭(前年同月比100.0%)と予測しており、一日当たりの頭数は約7万2,400頭である。当市場の10月の集荷予定頭数は1万9,000頭となっており、一日当たりでは約850頭の見込みである。

また、農畜産業振興機構による10月分の豚肉輸入見込数量は、総量で7万200t(前年同月比92.6%)の予測となっている。内訳はチルドが2万8,400t(同89.9%)、フローズンは4万1,800t(同94.5%)の予測である。

また7月における豚肉推定在庫量は、国産品が1万8,705t(前年同月比110.0%)、輸入品は15万3,531t(同92.4%)となり合計17万2,236t(同94.0%)となった。推定出回り量は14万1,877t(前年比95.0%)で前年を下回った。うち国産品は7万141t(同100.6%)輸入品は7万1,736t(同90.1%)であった。国内生産量は6万7,725t(同94.7%)と引き続き前年を下回った。

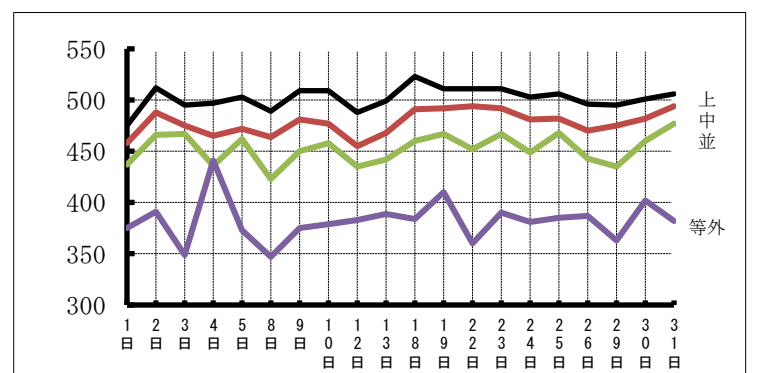
10月は年間を通じて最も過ごしやすい時期であり、イベント・行事など多数開催されることが想定できるため、必然的に消費需要が高まっていくことが期待できる。養豚にとっても生体の発育に良い気候となり全国頭数も徐々に増加へと向かうであろう。

輸入物において荷動きが堅調であるなか、8・9月の通関実績は各国軒並み増加傾向となっており、量販店にとって国産物と輸入物のシフトがしやすい状態が整いつつあるといえる。

代替品としての鶏肉は国内産の生産量増加が続いている状態で、輸入物についても在庫量は潤沢であり価格も安定している。更なる円高が進めば輸入量が増加する可能性は否めない。

したがって初夏頃にあった急激な相場変動が起きることは考えづらく、当市場の上物平均価格は495円、中物平均価格470円と予想する。

豚 日別相場表(9月)



出荷者の皆様へ

PEDをはじめとする様々な病気を予防するため、東京食肉市場では防疫体制を強化しております。来場の際における生体車の消毒など、衛生担保のため、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

東京都港区港南2-7-19

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127

URL <http://www.tmmc.co.jp/>